

地域再生計画（地方創生污水处理施設整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	長野県	事業実施主体	坂城町	地域再生計画名	潤いのある快適で安全なまちづくり計画
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	坂城町 建設課長 宮下 和久		

	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		中間評価	中間目標値の実現状況に関する評価
			基準年度		年度	中間実績	基準年度				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	污水处理人口普及率	84. 8%	H25	88. 2%	H29	89. 0%	90. 0%	H31	○	H27年度から南条地区の下水道の面整備を進め、住居地域のため、下水道の污水处理人口は順調に増加している。浄化槽の人口はあまり増加していないが下水道と合わせた污水处理人口は中間目標値を上回った。
	指標 2	公共下水道整備面積	453ha	H25	513ha	H29	502ha	553ha	H31	△	H29年度、主に国道開削工事を実施し、面整備が国道沿線に限定され、整備面積が中間目標値を下回った。H30年度からは主に面整備を進め、整備面積の増加を図っていく。
	指標 3	水洗化率の向上	52. 7%	H25	64. 2%	H29	62. 7%	70. 0%	H31	△	H27年度から南条地区の面整備を進め、下水道の污水处理人口は順調に増加しているが、個人が実施する水洗化工事に期間を要し、水洗化率は中間目標値をやや下回った。引き続き水洗化啓発を行い、水洗化率の向上を図っていく。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1	千曲川環境整備事業	—	H25	—	—	—	—	H31	○	「さかき千曲川バラ公園」の整備を毎年行っており、ばら祭りには期間中4万人を超える来園者が訪れる千曲川のシンボルの場となった。
	指標 2	千曲川河川愛護事業	—	H25	—	—	—	—	H31	○	毎年4月にクリーンキャンペーンを住民・企業・町で協働で実施し、美しい水辺環境の創出、環境保全意識の高揚が図られた。
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価					
計画			中間年度 (H29)	最終実績見込み							
特別措置を適用して行う事業	公共下水道事業（管渠）		25, 000m	9, 107m	22, 234m	污水处理人口普及率については、H29年度は主に国道開削工事を実施し、面整備が国道沿線に限定されたが、H27、28年度の住居地域の面整備により、中間目標値を上回った。公共下水道整備面積については、H29年度、面整備が主に国道沿線に限定されたため、中間目標値を下回った。H30年度から主に面整備を進め、整備面積を増やしていく。					
	合併処理浄化槽設置整備事業（個人設置型）		25基	11基	15基	下水道計画区域外が浄化槽補助金の対象区域で、既存建物所有者の高齢化等に伴い、浄化槽設置基数が増えない状況にある。水洗化啓発を行い、污水处理人口普及率の向上に繋げていく。					
その他の事業	千曲川環境整備事業		さかき千曲川バラ公園と周辺施設の整備			町のシンボルとして、地域住民の交流の場として、また、観光面での活用も図るため、引き続き整備を進めていく。					
	千曲川河川愛護事業		毎年4月に千曲川河川敷の3エリアでクリーンキャンペーンを実施			河川敷公園、バラ公園を拠点として継続して河川清掃活動を実施することにより、美しい水辺環境の創出、環境保全意識の高揚が図られ、河川敷内のゴミの量が減少してきている。					
計画外で独自に実施した事業	水洗化啓発事業		水洗化率の向上を図り、該当者に通知による早期接続の啓発を実施			下水道整備済区域の未接続者に対する早期接続の啓発と、下水道区域外対象者に対する浄化槽整備の啓発を行い、水洗化率の向上を図っていく。					
④評価方法	坂城町監査委員に説明し、中間目標値の実施状況に関する評価・検討等を行った。										
⑤中間評価の公表方法	坂城町のホームページに掲載。										
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、地方創生污水处理施設整備推進交付金を活用した下水道整備と浄化槽整備を一体的に実施している。下水道整備及び、浄化槽整備について交付金の年度間調整を行い、事業を進めてきており、住居地域の整備により下水道の污水处理人口が順調に増加しており、污水处理人口普及率は中間目標値を上回った。公共下水道整備面積については、H29年度整備が国道沿線に限定され、中間目標値を下回った。水洗化率の向上については、個人が実施する水洗化工事に期間を要し、中間目標値は下回ったが、整備の進捗により生活環境の改善が図られている。										
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、中間評価で3つの指標（污水处理人口普及率、公共下水道整備面積、水洗化率の向上）の総合評価は上記のとおりである。下水道整備については、H30年度から主に面整備を進め、引き続き完了時の目標達成に向けて、現計画の事業を進めていく。浄化槽整備については、下水道計画区域外の対象者に対して水洗化に必要な浄化槽の広報に努め、整備促進を図っていく。水洗化率の向上については、環境保全意識の高揚を図る事業と併せ、水洗化啓発事業も継続していき、水洗化人口の増加を図っていきたい。										